

## 5-10 景観

### 5-10-1 現況調査

#### 1. 調査地域及び調査地点

調査地域は、対象事業実施区域を視認できる可能性のある領域（可視領域）の範囲とした。

調査地点は、景観の特性を踏まえ調査地域における主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観に係る環境影響を予測、及び評価するために必要な情報を適切に把握できる地点として、不特定多数の人々が利用し得る表 5-10.1 に示す 4 地点とした。

表 5-10.1 調査地点

地点	選定理由
St. 1（北側交差点）	対象事業実施区域北側の交差点付近であり、多くの人 が日ごろから往来することから、対象事業実施区域を 北側から眺望する地点として設定
St. 2（柴木天神山頂上）	柴木天神山の頂上付近であり、登山道として利用され ていることから、対象事業実施区域を東側から眺望す る地点として設定
St. 3（毛野無羅山頂上）	毛野無羅山の頂上付近であり、登山道として利用され ていることから、対象事業実施区域を西側から眺望す る地点として設定
St. 4（茶臼山頂上）	茶臼山の頂上付近であり、登山道として利用されてい ることから、対象事業実施区域を南側から眺望する地 点として設定

#### 2. 調査期間等

調査地域の景観の特性を踏まえ、景観の変化を的確に把握し得る期間として四季に実施した。

調査期間を表 5-10.2 に示す。

表 5-10.2 調査期間

調査項目	時期	調査期間
景観	秋季	令和 2 年 10 月 27 日
	冬季	令和 3 年 1 月 21 日
	春季	令和 3 年 4 月 12 日
	夏季	令和 3 年 7 月 25 日



凡 例



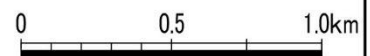
対象事業実施区域



景観調査地点



SCALE 1 : 25,000



この地図は、国土地理院発行の数値地図 25000 をもとに作成した。

図 5-10.1 調査地点位置図

### 3. 調査結果

#### (1) 主要な眺望点の状況

対象事業実施区域及びその周辺の景観特性は、丘陵地部の樹林地と低地部の農地、ため池等の自然的な景観と、低地部を中心とした住宅、道路等の市街地的な景観により構成される。また、対象事業実施区域には既存の焼却施設が立地しており、その北側地域からは工場棟及び煙突が視認でき、地域における特徴的な存在となっている。

#### (2) 主要な眺望景観の状況

主要な眺望地点の景観の概況を表 5-10.3～表 5-10.6 に示す。

表 5-10.3 景観の概況 (St. 1)

地点名	St. 1 (北側交差点)
眺望地点の状況	・対象事業実施区域北側の交差点付近であり、日ごろから多くの人や車が往来している。
眺望景観の状況	・対象事業実施区域方向を眺望すると現施設の煙突が視認できる。 ・対象事業実施区域の背後には柴木天神山及び茶臼山の尾根の一部が見渡せる。 ・正面の空き地草地の繁茂が季節変化として確認できるが、その範囲は非常に小さい。

表 5-10.4 景観の概況 (St. 2)

地点名	St. 2 (柴木天神山頂上付近)
眺望地点の状況	・対象事業実施区域東側に位置する柴木天神山の頂上付近である。 ・調査地点は登山道 (備南アルプス縦走路) 上に位置している。 ・周囲は広葉樹林 (常緑広葉樹林、常緑針葉樹混じり) に囲われている。
眺望景観の状況	・調査地点は周囲を樹林に囲われており、遠方を眺望することができない。 ・落葉広葉樹の落葉 (冬季)、展葉 (春季～秋季)、花卉の開花 (春季) により樹林の色の変化が確認できる。

表 5-10.5 景観の概況 (St. 3)

地点名	St. 3 (毛野無羅山頂上付近)
眺望地点の状況	・対象事業実施区域西側に位置する毛野無羅山の頂上付近である。 ・調査地点は登山道 (備南アルプス縦走路) 上に位置している。 ・周囲の樹木の高さは視野より低く、遠方を見渡せる。 ・調査地点周辺にはベンチが設置されている。
眺望景観の状況	・対象事業実施区域方向を眺望すると現施設の煙突が視認できる。 ・対象事業実施区域の前面には茶臼山、背後には柴木天神山の尾根の一部が見渡せる。 ・四季を通して眺望の季節的变化は少ない。

表 5-10.6 景観の概況 (St. 4)

地点名	St. 4 (茶臼山頂上付近)
眺望地点の状況	・対象事業実施区域南側の茶臼山の頂上付近である。 ・調査地点は登山道 (備南アルプス縦走路) 上に位置している。 ・周囲は広葉樹林 (常緑広葉樹林、常緑針葉樹混じり) に囲われている。
眺望景観の状況	・調査地点は周囲を樹林に囲われており、遠方を眺望することができない。 ・落葉広葉樹の落葉 (冬季)、展葉 (春季～秋季)、花卉の開花 (春季) により樹林の色の変化が確認できる。

## 5-10-2 予測及び評価の結果

### 1. 施設の存在に伴う景観への影響（存在及び供用）

#### （1）予測

##### 1）主要な眺望点及び景観資源の分布の改変

主要な眺望点及び景観資源の分布位置は、対象事業実施区域から十分離れており、主要な眺望点及び景観資源の改変は行わない。このため、計画施設による主要な眺望点及び景観資源の分布への影響はないと予測される。

##### 2）主要な眺望景観の変化

計画施設は、煙突の高さ 59m、工場棟建屋の高さ約 30mを想定しており、周辺の施設及び樹林より高くなることから周辺からの視認が推定される。

現況調査の結果を踏まえ、主要な眺望点からの視認状況について変化が生じると予測された地点における景観の変化を表 5-10.7 及び表 5-10.8 に示す。

眺望景観の変化の指標について予測した結果、St. 1 を除き、全ての予測地点で指標を下回った。なお、St. 1 では垂直見込み角及びスカイラインを切断する等の指標により影響が生じる可能性が考えられたものの、その程度は小さいと予測された。

このことから、主要眺望点の代表地点における圧迫感等の変化は、全ての地点で小さいものと予測する。

#### （2）環境保全措置

施設の存在に伴う景観への影響を回避または低減するため、以下に示す環境保全措置を講じることとしている。

- ・緑化の実施：敷地周辺において緑化等を行う等、周辺環境との調和を図る。
- ・周辺の景観へ配慮したデザイン：建屋及び煙突等は、美観に配慮した調和の取れたデザイン及び仕上げとする。

影響の予測結果を踏まえ、景観への影響をさらに低減するため、追加的な環境保全措置の検討を行った。検討の結果、実施可能な環境保全措置を以下に示す。

- ・構造物の意匠の検討：「晴れの国おかやま景観計画」（平成 20 年、岡山県）との整合を図り、建屋及び煙突の配色等に配慮する。

#### （3）評価

##### 1）環境影響の回避・低減に係る評価

調査及び予測の結果、並びに前項に示す環境保全措置を踏まえると、施設の存在に伴う対象事業実施区域の近傍からの眺望景観へ及ぼす影響については、環境保全措置を講じることにより低減が期待できるものと考えられる。なお、環境保全措置の具体の検討にあたっては、景観計画との整合に留意し、地域景観の統一性に配慮する。

以上のことから、施設の存在が景観へ及ぼす影響について、事業者の実行可能な範囲内で低減が図られているものと評価する。



表 5-10.7 フォトモンタージュによる景観の変化 (St. 1)

フォトモンタージュによる景観の変化 (春季)

現況



将来





表 5-10.8 フォトモンタージュによる景観の変化 (St. 3)

フォトモンタージュによる景観の変化 (秋季)	
現況	 A landscape photograph showing a valley with a town and rolling hills under a clear blue sky. The foreground is filled with dense green trees and shrubs. The town below has several buildings and a road. The hills in the background are covered in green vegetation.
将来	 A landscape photograph showing a valley with a town and rolling hills under a clear blue sky. The foreground is filled with dense green trees and shrubs. The town below has several buildings and a road. The hills in the background are covered in green vegetation.